

## プロテインキナーゼCαアイソザイム ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0574

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa<sup>2+</sup>およびホスホリピッドを必要とし、PKCα、βI、βII、およびγが含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa<sup>2+</sup>非依存であり、PKCδ、ε、η、およびθが含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォールボールエステルによって活性化されず、PKCξ、μ、およびιが含まれます。

**別名** PRKCA; プロテインキナーゼC、アルファ; PKCA; プロテインキナーゼCアルファ型; PKC-A; PKCα; AAG6; PKCアルファ; PRKACA

### 製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	mol wt 80-81 kDa by SDS-PAGE
純度	> 70% (SDS-PAGE)
緩衝液	50 mM Tris-HCl、pH 7.5、150 mM NaCl、10 mM グルタチオン、0.1 mM EDTA、0.1 mM PMSF、25% グリセロール、0.25 mM DTT の溶液
代謝経路	ATF-2転写因子ネットワーク、特定の生物系; アフリカトリパノソーマ症、特定の生物系; アフリカトリパノソーマ症、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、保存された生物系; アルファ6-ベータ4インテグリンシグナル伝達経路、特定の生物系; アメーバ症、特定の生物系
機能	ATP結合; 酵素結合; ヒストンキナーゼ活性 (H3-T6特異的); 金属イオン結合; スクレオチド結合; タンパク質結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼ活性; プロテインキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; 亜鉛イオン結合
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.2の条件下で1分間にCREBtideに1 pmolのリン酸を転送します。

### 保管・発送情報

安定性 -70°C